

# 带状疱疹予防(乾燥弱毒生水痘ワクチン)における 接種不相当者について

## 2. 接種不相当者(予防接種を受けることが適当でない者)

- 2.1 明らかな発熱を呈している者
- 2.2 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな者
- 2.3 本剤の成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな者
- 2.4 妊娠していることが明らかな者
- 2.5 上記に掲げる者のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある者
- 2.6 明らかに免疫機能に異常のある疾患を有する者及び免疫抑制をきたす治療を受けている者

## 「2.接種不相当者」2.6に該当する例(带状疱疹予防として使用する場合)

『2.6 明らかに免疫機能に異常のある疾患を有する者及び免疫抑制をきたす治療を受けている者』とは、以下の者が該当します。具体例については下表も参考にしてください。

- ・先天性及び後天性免疫不全状態の者  
急性及び慢性白血病、リンパ腫、骨髄やリンパ系に影響を与えるその他疾患、HIV 感染またはAIDS による免疫抑制状態、細胞性免疫不全などによる。
- ・薬剤などによる治療を受けており、明らかに免疫抑制状態である者

带状疱疹予防における「2.接種不相当者」2.6の具体例		
接種後 2 週間以内に治療等により末梢血リンパ球数の減少あるいは免疫機能の低下が予想される場合		
細胞性免疫不全状態の場合		
骨髄やリンパ系に影響を与える疾患		免疫抑制状態あるいは免疫不全状態にある場合
HIV 感染または AIDS		
悪性腫瘍の患者	急性骨髄性白血病、T 細胞白血病、悪性リンパ腫、慢性白血病	免疫抑制状態あるいは免疫不全状態にある場合
	急性リンパ性白血病	① 完全寛解後 3 か月未満 ② リンパ球数が 500/mm <sup>3</sup> 未満 ③ 遅延型皮膚過敏反応テストが陰性 ④ 維持化学療法としての6-メルカプトプリン投与以外の薬剤を接種前後 1 週間以内に使用 ⑤ 強化療法や広範な放射線治療などの免疫抑制作用の強い治療を受けている
	悪性固形腫瘍	摘出手術又は化学療法によって腫瘍の増殖が抑制されていない場合 腫瘍の増殖が抑制されている状態で、急性リンパ性白血病の①～⑤に該当する場合
免疫抑制・化学療法などを受けている	副腎皮質ステロイド剤、免疫抑制剤を使用している	副腎皮質ステロイド剤(注射剤、経口剤) : プレドニゾロン等 免疫抑制剤: シクロスポリン(ネオーラル、サンディミュン) タクロリムス(プログラフ) アザチオプリン(イムラン)等 により、明らかに免疫抑制状態である場合*
	上記以外の免疫抑制作用のある薬剤を使用している	抗リウマチ剤や抗悪性腫瘍剤等により、明らかに免疫抑制状態である場合*

※添付文書の「8. 重要な基本的注意」や「10. 相互作用」の項等に生ワクチンの併用について記載されている場合がありますので、各薬剤の添付文書をご確認ください。

○表中に該当しない場合においても、「2. 接種不相当者」のその他項目と併せ、被接種者の状態などを考慮して接種の可否をご判断ください。

○その他の接種上の注意の詳細につきましては、最新の製品添付文書をご参照ください。